

平成29年度 第2回和歌山市入札監視委員会 議事概要

開催日及び場所	平成29年11月10日(金) 市役所東庁舎4階 入札室	
出席委員氏名	井伊 博行(委員長) 池田 裕明 齊藤 久美子 廣谷 行敏 五十音順	
審議対象期間	平成29年4月1日～平成29年9月30日	
抽出案件(総件数)	建設総務 2件	議 事 1 入札及び契約手続の実績状況等の報告 2 抽出工事及び業務に係る経緯等の審議 3 その他
	水道局 2件	
一般競争入札 (事前審査型)	建設総務 1件	
	水道局 1件	
一般競争入札 (事後審査型(郵送方式))	建設総務 1件	
	水道局 1件	
一般競争入札 (事後審査型(持参方式))	建設総務 1件	
	水道局 1件	
一般競争入札 (事後審査型(電子入札方式))	建設総務 2件	
	水道局 2件	
公募型指名競争入札	建設総務 1件	
	水道局 1件	
指名競争入札	建設総務 1件	
	水道局 1件	
随意契約	建設総務 1件	
	水道局 1件	
委員からの意見・ 質問、それに対する回答	意見・質問	回 答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による建議の内容	なし	

和歌山市入札監視委員会
平成29年度 第2回会議録

<p>(建設総務課分)</p> <p>[事後審査型一般競争入札(電子入札方式)]</p> <p>① 広瀬小学校外2校冷暖房設備工事</p>	<p>事務局(建設総務課): 抽出事案の概要説明</p> <p>本工事は、良好な学習環境の確保と、熱中症等の発生の予防のため、小学校の普通教室と特別教室等に冷暖房設備を設置するものです。</p> <p>市内の小学校全50校を、27件の工事に分けて発注し、開札順で本工事は10件目となります。</p> <p>冷暖房設備工事の施工だけでなく、その設計も含めての発注であるため、設計業務を他社に下請けに出さなくてはならない業者が多いこと、教室に冷暖房を設置しなければならないため、休校日にしか施工できない中、今年度末までの完成が求められるタイトな工期であること、短期間に同内容の工事が多く発注されたため、技術者の確保が困難であること等から経費が高くなることが考えられます。</p> <p>また、電子入札におけるランダム係数が1.0197と高く出たために、入札参加者8人中3者が失格となり、さらに落札予定者となった株式会社富士商會が、同一改札日に既に3件の小学校冷暖房設置工事の落札予定者となっており、技術者の不足を理由に辞退し、次順位の東和冷機株式会社が落札予定者となりました。</p> <p>以上のことから、落札率が高くなったと考えられます。</p> <p>委員: 同種の工事の発注時期が集中し、技術者が不足してしまったとのことだが、なぜ集中してしまうのか。</p>
---	---

<p>[事後審査型一般競争入札（電子入札方式）]</p> <p>② 青岸ストックヤード整備機械設備工事</p>	<p>事務局：国の補正予算で要望し、市立小学校全体について補助金であり、29年度中に執行しなければならぬため、集中せざるを得ませんでした。</p> <p>事務局（建設総務課）：抽出事案の概要説明</p> <p>本工事は、青岸清掃センターに搬入された一般廃棄物を資源として有効利用するため、手作業等で選別を行い、搬出するまで一時的に保管するためのマテリアルリサイクル推進施設（ストックヤード）の建設に伴う機械設備工事です。</p> <p>本件は平成29年5月31日に対象業者を市内・準市内として公告し、6月16日に開札がありました。入札参加者が1者で入札取りやめとなったため、対象業者を県内・県外に広げて再入札を行ったものです。</p> <p>内容としては、一般的な機械設備工事であり、難易度は高いものではありませんが、先述の案件をはじめとした小学校の冷暖房設備工事27件の開札が行われた直後であり、市内・準市内の管工事業者の技術者が非常に不足している状況であったこと、また、並行して発注のあった同青岸ストックヤードの建設工事や電気設備工事の施工業者との密接な連携・調整が必要とされるため、入札参加者が少なく、落札率が高くなったと考えられます。</p> <p>委員：はい、わかりました。</p>
---	--

(水道総務課分)

[事後審査型一般競争入札 (電子入札方式)]

③ 井辺配水管布設替工事

事務局 (水道総務課) : 抽出事案の概要説明

本工事の施工内容としましては、岡崎地区において、配水管の布設替を行うものであり、工事場所は道路幅員が狭く、う回路もない場所ですが、交通量も少なく、工事自体は比較的容易と思われるものであったため、入札参加者が多かったと考えられます。

事前公表している失格価格変動下限額は予定価格の79.13%となっております。

開札結果ですが、電子入札におけるランダム係数は1.0187と高く、入札参加者18者中16者が失格価格を下回り失格となりました。落札率は81.22%と、配水管工事としては比較的高くなりました。

委員 : はい、わかりました。

[事後審査型一般競争入札 (電子入札方式)]

④ 真砂配水場電気設備工事

事務局 (水道総務課) : 抽出事案の概要説明

本工事の施工内容としましては、真砂配水場及びその操作を行う加納浄水場運転管理室において電気設備工事を行うものです。加納浄水場では既設電気設備の改造作業が発生するため、施工可能な業者が限られたことから、入札参加者が少なかったと考えられます。

事前公表している失格価格変動下限額は予定価格の82.52%となっております。

開札結果ですが、電子入札におけるランダム係数は1.0040、係数としては低いものでしたが、入札参加者が2社と少なく、落札率は95.23%と高くなりました。

委員 : はい、わかりました。

【現場視察】

○ なし